

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

# Amazon Timestreamサービスレベルアグリーメント

最終更新：2024年2月29日

本Amazon Timestreamサービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、Amazon Timestream for Live AnalyticsおよびAmazon Timestream for InfluxDB（総称して「Timestream」）の使用を規定するポリシーであり、Timestreamを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）における契約条件との間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

## SLA

AWSは、Timestreamに関して以下の3種類のSLAコミットメントを用意している。(1) Amazon Timestream for Live Analytics向けの標準SLA、(2) Amazon Timestream for InfluxDB向けのマルチ-AZ DB インスタンス SLA、(3) Amazon Timestream for InfluxDB向けのシングル DB インスタンス SLA。

### Amazon Timestream for Live Analytics向けの標準SLA

AWSは、商業上合理的な努力により、月次請求期間において、Amazon Timestream for Live Analyticsを、下表に示す月間稼働率で利用可能にする（「標準SLA」）。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.99%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

### Amazon Timestream for InfluxDB向けのマルチ AZ DB インスタンス SLA

AWSは、商業上合理的な努力により、月次請求期間において、Amazon Timestream for InfluxDBを、下表に示す月間稼働率で利用可能にする（「マルチ AZ DB インスタンス SLA」）。

月間稼働率	サービスクレジット率
-------	------------

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

99.0%以上、99.9%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

## Amazon Timestream for InfluxDB向けのシングル DB インスタンス SLA

AWSは、商業上合理的な努力により、月次請求期間において、Amazon Timestream for InfluxDBの各シングル DB インスタンスを、下表に示すインスタンスレベル稼働率で利用可能にする（「シングル DB インスタンス SLA」）。

### 月間稼働率

99.0%以上、99.5%未満

95.0%以上、99.0%未満

95.0%未満

## サービスクレジット

サービスクレジットは、該当するSLAが満たされなかった月次請求期間で、影響を受けたAWSリージョン内において、該当する標準 SLA およびマルチ AZ DB インスタンス SLA が満たされなかった標準 Timestreamもしくはマルチ AZ DB インスタンス、またはシングル DB インスタンス SLAが満たされなかったシングル DB インスタンスに対して、利用者が支払った料金への定率として計算される。

サービスクレジットは、Timestreamについて利用者に今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、Timestreamの提供における当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合、利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

## クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、利用者が[AWSサポートセンターでケースを作成する](#)ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。標準SLA、マルチ AZ DB インスタンス

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

#### SLA、およびシングル DB インスタンス

SLAに基づく請求を組み合わせたり、まとめたりすることはできない。利用者は、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、該当する標準 SLAおよびマルチ AZ DB インスタンス

SLA、またはシングル DB インスタンス SLA

について、以下の情報を添えてリクエストを当社に提出しなければならない。

- i. 件名に「Amazon Timestream SLA Credit Request - Standard/Multi-AZ /Single-DB Claim（Amazon Timestream SLAクレジットリクエスト – 標準/マルチ AZ /シングル DB請求）」という文言。
- ii. 利用者が請求する各利用不可インシデントの日時。
- iii. 影響を受けた標準インスタンス、マルチ AZ DB インスタンス、またはシングル DB インスタンスに関する、DB インスタンス ID およびAWS リージョン。
- iv. エラーを記録し、利用者が主張する停止を裏付けるリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク（\*）で置き換えること）。

該当するSLAに基づくクレジット請求を当社が確認した場合、当社は、リクエストが発生した月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

### Timestream SLA例外事由

#### 各 SLA

は、直接または間接的に関わらず以下の場合には、いかなるTimestreamの利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他のTimestreamのパフォーマンス上の問題にも適用されない。(i) 不可抗力事由またはTimestreamの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する場合、(ii) 利用者の行為または不作為に起因する場合、(iii) AWSサイトにあるTimestreamドキュメントに記載された[ガイドラインおよびベストプラクティス](#)に従っていないことに起因する場合、(iv) データベースが繰り返しクラッシュしたりデータベースインスタンスが操作不能になったりする、データベースエンジンソフトウェアに起因する場合、(v) 利用者の装置、ソフトウェアまたはその他のテクノロジーに起因する場合、(vi) 本件契約に基づくTimestreamを利用する利用者の権利の停止または終了に起因する場合（総称して「Timestream SLA 例外事由」という）。

当社の月間稼働率またはインスタンスレベル稼働率の計算で使用されるもの以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

### 定義

- 「エラー」とは、AWSサイトのTimestream[一般的なエラー](#)に記載されるとおり、500または503のエラーコードが返されるリクエストをいう。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

- 所定のシングル DB  
インスタンスの「インスタンスレベル稼働率」は、月次請求期間中において、シングル DB インスタンスが「利用不可」となっていた5分間のインターバルのパーセンテージを100%から減じて計算する。月の一部だけシングル DB インスタンスを稼働していた場合、稼働していなかった月の部分については、利用者のシングル DB インスタンスは100%利用可能であるとみなされる。
- 所定のAWSリージョンにおけるリクエストの「月間稼働率」は、月次請求期間中において、リクエストが利用不可となっていた5分間のインターバルのパーセンテージを100%から減じて計算する。所定の5分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルは100%利用可能であるとみなされる。月間稼働率の測定では、Timestream SLA例外事由に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「マルチ AZ インスタンス」とは、マルチ AZ インスタンスデプロイオプションが選択されたAmazon Timestream for InfluxDBをいう。
- 「リクエスト」とは顧客が開始したアクションであり、[Timestream APIリファレンスドキュメント](#)において、[Timestream](#)がサポートするものとして特定されているタイプのものをいう。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「シングル DB インスタンス」とは、シングル DB デプロイオプションが選択されたAmazon Timestream for InfluxDBをいう。
- 「標準 DB インスタンス」とは、標準データベースデプロイオプションが選択されたAmazon Timestream for Live Analyticsをいう。
- 「利用不可」および「利用不可状態」とは、5分間のインターバル中、すべてのTimestream リクエストの応答がエラーであることをいう。